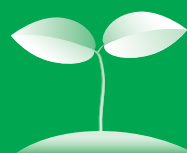


育てよう 鏡野のよい子シリーズ



成長の瞬間

香北小学校は現在全校児童十五人の小規模校です。その良さを生かした全校での取り組みが多くあります。給食や掃除の班は全校の縦割り班ですし、体育の授業も全校で行います。その中で低学年の子どもたちは高学年に教えてもらったり、手伝ってもらったりして新しいことを覚えていきます。そんな学校生活の中で子どもたちの成長の瞬間をともし、強く印象に残ったことがあります。

町教育研究会の音楽指導の研修のため、外部の講師の先生をお呼びして全校の子どもたちに合唱の指導をしていただいた時のことです。それまでに子どもたちは大きな声で元氣よく歌うことができるようになっていたのですが、さらに上の段階を目指すにはどうすればよいか、試行錯誤していました。何度も歌い、自分たちの力はここまでだ。こんなに歌わなくてもいいじゃないか、と感じていた子もいたかもしれません。

しかし講師の先生の指導を受けているわずか一時間のなかで声の響きが

ぐつと大きく豊かになってきました。低学年には難しい二部合唱での音程もだんだんと安定してきました。高学年はしっかりととした声量で合唱を支えます。その変化を子どもたち自身やその場にいた職員や他校の先生方も感じていたと思います。歌うごとに子どもたちの表情が明るくなり、授業のまとめの最後の合唱を終えたあと、満足そうな表情で終了のあいさつをしていました。子どもたち自身が自分たちの成長を歌声から感じたからでしょう。

低学年は「自分たちなりに一生懸命頑張る」ことで力を伸ばし、高学年は「自分たちはもっとできる」と低学年に負けないように頑張りを伸ばしたのだと思います。高学年から低学年に「してあげる」ことばかりではなく、お互いが刺激し合い成長することができる場所が学校であることを改めて感じた瞬間でした。学習発表会で子どもたちの頑張りを見ていただくのが楽しみです。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

香北小学校 佐々木 典子

のびのびひろば

ソーラン踊り♪がんばったよ

年長児としてはりきって臨んだ産業まつり!! 遊戯室からは「どこいしょ～、どこいしょ～!!」と元気なかけ声が園内に響き、一生懸命練習していたぞう組さん。そんなカッコイイぞう組さんの踊りを見て、小さいクラスのお友達も一緒になって踊っていました。ぞう組さんも小さいお友達に踊り方を教えてあげる姿が見られ、優しさや思いやりの心も育っています。産業まつりでは力を発揮し、『お父さん お母さんの前でかくよく踊れたで賞』をいただきました。おうちの人にも「よく頑張ったね!!」と褒めてもらい、笑顔いっぱいの子どもたちでした。

来年は
僕たちが
踊るぞ♪



お兄ちゃんたちの
マネっこ♪



ソーラン♪ソーラン



いっぱい踊って
お腹がペコペコ♪



おいしい給食
いただきます♪

(かがみの中央こども園)